

用せせらぎ

第2号

R2.5.18

校訓 心ゆたかに 健やかに

校長 長谷川 晃三郎

3月の休校が終わり、4月6日にようやく学校を再開できたと喜んでいただけの間、4月21日からまた休校になってしまいました。新1年生は1週間ちょっと、他の学年も2週間ほどしか登校できていません。子どもたちも、そして保護者の皆様方におかれましても、いろいろたいへんだったと思います。

子どもたちが全員揃って登校し、明るい声が聞ける そんな当たり前のことがこんなにも嬉しいことだと感じたことはありません。今後どうなるかはまだ分かりませんが、一日も早く以前の生活が戻ってくることを祈るばかりです。学校で子どもたちの顔を見ることができ、授業ができることの「当たり前」の幸せを噛みしめながら、一日一日を大切に教育活動を進めていきたいと思っています。



当面の教育活動について



これまでも便りやメールでお知らせをしていますが、当分の間は感染拡大防止を徹底していきます。また、対外行事も含め、いろんな行事を中止にせざる得ないなど、本来の教育活動はできにくい状況です。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

- ◆毎日の検温や健康観察をこまめに行い、一人ひとりの状況をしっかり把握します。
【登校前のお子さんの検温をよろしくお願いします。体調が優れない場合は家庭へ連絡をしますので携帯等つながる環境にしておいて下さい。】
- ◆マスクの着用、手洗いや換気を徹底します。また、教室のドアや電気のスイッチ、トイレのドアノブや階段の手すりなどよく触る場所は定期的に消毒を行います。
- ◆年間計画の見直しを行い、リスクの高い教育活動については2学期以降に延期、または、中止いたします。
【延期】 ・修学旅行 ・5年宿泊体験学習 ・家庭科の試食を伴う調理実習 等
【中止】 ・体育の水泳指導 夏休みのプール開放(※伊万里市全体で中止)
- ◆市全体の行事等も現段階で中止が決まっているものがあります。
・市内小学校相撲大会(6月) ・市内陸上大会(10月) ・市内音楽会(11月) 等

こんな状況だからこそ、次のようなことに力を入れて進めていきます。

☆一人ひとりの理解や実態に応じた指導を重視します。

☆書く活動を多く取り入れるなど、じっくり考える時間をつくります。

☆「コロナに罹患した人を差別しない」「社会は多くの方々に支えられて成り立っている」「周りの人に感謝し、大切に作る気持ち」等をしっかりと考えさせる機会を大切にします。

今年度から学校教育目標を「輝け！伊万里小」～一人ひとりが伸びる学校 笑顔と活気にあふれる学校～その具現化に向け、『きらきら伊小っ子プロジェクト』を全職員一丸となって推進していきます。どうぞご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

【校訓】 『心ゆたかに 健やかに』

〔令和2年度 学校教育目標〕

「輝け！ 伊万里小」

一人ひとりが伸びる学校 笑顔と活気にあふれる学校


【児童像】

- かしこく**
- ◎ 友達や先生の話をしっかり聞くことのできる子ども
 - ◎ 自ら学ぶ意欲を持ち、最後まで努力する子ども
- やさしく**
- ◎ 学校や家庭、地域で気持ちのよい「返事」と「挨拶」ができる子ども
 - ◎ 友達や家族、地域の方々を大切にし、感謝できる子ども
- たくましく**
- ◎ 自分で考え、行動する子ども
 - ◎ 健康に留意し、何事にも粘り強く取り組む子ども

【学校像】

- 
- 一人ひとりが伸びる学校
 - 笑顔と活気にあふれる学校
 - 励まし合い、助け合う学校
 - 自主性を大切にする学校

【教師像】

- ◇ 子どものことを第一に考える教師
 - ◇ 子どもをしっかり見つめ、ほめ励まし、伸ばすことのできる教師
 - ◇ 子どものために、組織で対応する教師
 - ◇ 誠実で、礼儀正しい教師
 - ◇ 自分と家庭を大切に、明るく活気のある教師
- 

今年度の重点目標

「きらきら伊小っ子プロジェクト」の推進

『7つの目標』の具現化

3つの「響く」		4つの「あふれる」	
☆返事が響く ☆挨拶が響く ☆明るい声と歌声が響く		★感謝の言葉があふれる ★思いやりがあふれる ★笑顔があふれる ★活気があふれる	
「返事」	☆話の聞き方の徹底【返事・考えながら話を聞く】	→	「返事4段階」「比較・関連・帰着・総合」の視点
「あいさつ」	☆地域や家庭で気持ちの良い挨拶ができる児童の育成	→	育友会や「伊小の会」との連携強化
「明るい声・歌声」	☆一人ひとりのよさを伸ばす・出番をつくる	☆	校歌指導とコーラス部の活動の充実
「感謝の言葉」	★周りの人を大切にする児童の育成	→	「ありがとう運動」の展開と感謝の会等の充実
「思いやり」	★周りの人を大切にする児童の育成	→	『根っこの教育』【礼節を重んじる指導】の推進
「笑顔」	★児童の実態把握と個に応じた指導の充実	★	気になる児童を中心に据えた教育の展開
「活気」	★自主性を高める	→	「任せ、認め、褒める」活動の重視 ★体験活動の充実

地域の中の学校【育友会・「響け伊小の会」・公民館等との連携強化】